

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



立教百八十七年
明けましておめでとうございます

昨年は教祖百四十年祭の三年千日活動一年目として、全教会一斉巡教を行い、各教会が定めた「目標と実践項目」のもと、成人の歩みを進めていただきました。それぞれの持ち場立場で精一杯おつとめくださり、誠にありがとうございました。

本年は元日から大地震という大節をお見せいただきました。この節を、成人を急ぎ込まれる親心からお見せいただく姿だと受け止め、一人ひとりが自分にできるたすかりへの願いと実践行動につなげて、年祭活動二年目が勇んだ一年となるようにつとめさせていただきます。

笠岡大教会長

上原明勇

教祖百四十年祭 笠岡大教会活動方針

つながろう、おやさまのお心に。
つなげよう、信仰の喜びを。

活動
目標

ひながたを学び、そのお心を実践しよう。



教祖140年祭

立教187年
1月号

立教186年 年末大掃除

管理部

管理部(虫明立生部長)は12月22日、午前9時から大教会に繋がる教会長・よふぼく・信者など約70人が参加して年末大掃除が行われた。

事前に声をかけた有志数名で、当日午前7時半から今年初めてブローアーを使用して手の行き届かない鴨居の上部や欄間の隙間、階段下など埃を吹き落とし事前準備を行った。

午前9時より集まった人たちが大教会長様のお手に合わせて三殿を礼拝後、各部署に分かれて大教会内の大掃除が始まった。男性は神殿内の神床・上段・参拝場と順番に長梯子・三脚・ビデを使いはたき・ブローアーをかけ水拭き空拭き後、畳拭きと掃除を進めた。また神殿廊下の外窓の拭き掃除も中庭から梯子をかけ高所作業が行われ新年に備えた。婦人会は神殿内の雑巾の手配を初め、教会内の各部屋の清掃、トイレ掃除・窓拭き・食堂ひのきしんとそれぞれを持ち場で勇んでつとめた。正午を過ぎて神殿に居合わせた人達で三殿礼拝をし、大教会長様は綺麗になった神殿で年末年始を迎えられると皆に労いの言葉を述べられ、今年一年の締めくくりの年末大掃除を終えた。



ピカピカになった上段

除が始まった。男性は神殿内の神床・上段・参拝場と順番に長梯子・三脚・ビデを使いはたき・ブローアーをかけ水拭き空拭き後、畳拭きと掃除を進めた。また神殿廊下の外窓の拭き掃除も中庭から梯子をかけ高所作業が行われ新年に備えた。婦人会は神殿内の雑巾の手配を初め、教会内の各部屋の清掃、トイレ掃除・窓拭き・食堂ひのきしんとそれぞれを持ち場で勇んでつとめた。正午を過ぎて神殿に居合わせた人達で三殿礼拝をし、大教会長様は綺麗になった神殿で年末年始を迎えられると皆に労いの言葉を述べられ、今年一年の締めくくりの年末大掃除を終えた。

高校受験勉強会 実施

学担

学生担当委員会(上原繁次委員長)は、12月23日、大教会で「高校受験勉強」を実施し、3人の受験生が参加した。

この日は、塾の講師をしている委員2人が、それぞれが受験する学校の過去問題などの解説をした。参加した受験生は、本番に向けそれぞれの課題を見つけ意欲を高めた。



数学、英語、理科などのポイントを指導

訃報

森川美雪さん

弓ヶ濱分教会前々会長

12月15日出直されました。

享年 73才

本多一男さん

西伯分教会前会長

12月29日出直されました。

享年 87才

三嶋正教さん

笠尋分教会長

1月3日出直されました。

享年 64才

上原眞雄さん

大教会承事、ニューヨークジャー
ジー笠岡布教所長
1月10日出直されました。

享年 89才

大教会だより

人事

立教186年12月25日付

青年会

委員長

副委員長

委員

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 瀬藤俊希 | 瀬藤勇希 | 三嶋文昭 | 田中真実 | 田中正之 | 枝廣正寛 | 浅野芳明 | 岡崎一真 | 森本忠一 | 佐藤孝祐 | 上原一始 | 上原喜三 | 藤井成喜 | 岡崎治喜 | 三代幸徳 | 瀬藤大喜 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
 瀬良優介 余村拓元 三代拓己 津森美教 丸山優樹 丸山隼人 山野大地 坂井幸生

◎第九八八期修養科

自 立教186年10月1日
 至 立教186年12月27日

*教養掛(主任、副主任)

一ヶ月目 ⑤ 上原志郎 (大教会役員)

④ 北川壯一 (稻讃分教会長)

二ヶ月目 ⑤ 浅野明教 (大教会准役員)

④ 三代拓己 (松都分教会長)

三ヶ月目 ⑤ 門脇元教 (大教会役員)

④ 島根分教会長

④ 藤本晴司 (西村分教会長)

*修了者

◎立教187年春季大祭参拝

(丸数字は当該月に)

照陽中島誠治	吸江門脇元教	東悠岡崎真一	海松ヶ岡前会長様	芳井武内正美	陶山大教会長様	ひろさと前会長様	興明中島誠治	金浦上原繁道	摩耶武内正美	陽備前会長様	弥高山田中隆之	鶴山②岡崎真一	久松岡崎真一	島根岡崎真一	神邊中島誠治	高屋田中隆之	福山大教会長様	笠岡講社前会長様	菅野村川陽子	福山田中誠実	海松ヶ岡森本忠一	芦品青木茂男	福富士北田智美	松都齋藤志満子	大江橋村川陽子
--------	--------	--------	----------	--------	---------	----------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	----------	--------	--------	----------	--------	---------	---------	---------

神免④上原志郎	錦備②上原志郎	美之郷中島誠治	神昭中島誠治	備中上原繁道	湯田原上原繁道	葦陽岡崎真一	驛家田中隆之	島中中島誠治	服部武内正美	東城②上原志郎	府中市大教会長様	上下前会長様	明石市大教会長様	皆部上原繁道	新山邑大教会長様	輝美濃岡崎真一
---------	---------	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	----------	--------	----------	--------	----------	---------



皆さま明けましておめでとございます。新たな心で年祭活動2年目を歩み出しておられる事と思います。さて私はと申しますと、昨年、教祖140年祭三年千日踏み出しの年の10月から3か月間、2度目となる本部修養科一期講

師を勤めさせて頂き、年末27日に修了の日を無事迎えさせて頂いて自教会へと戻らせていただきました。

この旬に勤めさせて頂いた、講師としての3か月は、私にとって大変貴重な、そしてありがたい時間でありました。普段、なかなか手につかない教祖伝の勉強も少しばかりですがさせて頂く事が出来ましたし、クラスの修養科生さん達との交わりの中で見せて頂く御守護も、感動や感激も、すべてがありがたく勿体ない日々でした。

なかでも、クラス全員の心が一つになった事で見せて頂いた大きな喜びは、生涯忘れる事のない心の宝です。

決して喜び勇んでお受けした一期講師の御用ではありませんでしたが、結果として私自身は大きな喜びで心を満たして頂く事が出来ました。

いま私たちが歩む旬の中には、自分にとって都合の良い事、また苦手な事にも向かわねばならない時もあると思います。しかしすべては神様がお与え下さる事で、それは成人へのお導きであり、大きな喜びの種であると感ぜさせて頂いております。この御用を御命じ下さいました大教会長様、ありがとうございました。

(や)

十二月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます
親神天理王命の御前に会長上原明勇慎んで申し上げます

親神様には『月日にわにんけんはじめかけたのわ よふきゆさんがみたい
ゆへから』と子供かわいい一条の親心で御守護下さり 陽気ぐらしへとお導
き下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます 私どもは
日々朝夕に御礼申し上げつつ 教祖の道具衆としての自覚のもと 教祖百四十
年祭に向け三年千日と仕切つての歩み出しの年をより一層の成人を目指し
てたすけ一条の御用の上に努め励ませて頂いております

その中にも月日は過ぎ行き 本日は早くも本年納めの月次祭をつとめる日
柄となりました 改めて本年一年を振り返り 至らぬ点は来年に生かすべく
しっかりと反省し 本年賜りました御守護の数々に改めて御礼申し上げます
く 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び感謝の心一杯に明るく陽気に勇んで坐
りづとめてをどりをつとめさせていただきます 御前には寒さ厳しき中 年末の
慌ただしさをも厭いませす今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供たち
が 相共にお歌を唱和し 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げます 状をご覧下
さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて年が改まれば年祭活動二年目の年でございます 「つながろう、おやさ
まのお心に。つなげよう、信仰の喜びを。」の活動方針のもとそれぞれの教
会で定めた目標と実践項目を継続すべきところは継続し改めるべきところは
改めてなお一層活発な動きとなるように邁進させて頂く所存でございます
何卒親神様には本年残された日々をたすけ一条に努め切り新たな年により
一層の成人をお誓い申し上げる皆の誠真実の心をお受け取り下さり万たすけ
の上に自由の御守護を賜りましてお望み下さる陽気ぐらし世界に一日も早く
立て替わりますようお願いの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

立教百八十六年 十二月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぼん	笛	おつとめ てをどり	地方	役割 区分		講話	祭主		二月講話	賛者	
											坐り勤	前半		後半	指図方		渡邊隆夫	
佐藤香苗	今川智子	上原順子	佐藤真孝	中村義太郎	谷内秀自	吉岡壽	中村剛	門脇元教	前奥様 大教会奥様 上原繁道	浅野明教 横山逸郎 佐藤道孝	坐り勤	門脇元教	森本忠善	中村道徳	大教会長様	二月講話	田中隆之	渡邊隆夫
高木孝子	岡崎豊子	谷内美知子	岡田誠	浅野明教	田林久嗣	高木昭祥	赤木素志	岡崎治喜	門脇加津 森本忠善	谷内秀自 虫明立生	前半	学生層育成者講習会	田中隆之	上原繁次	渡邊隆夫			
横山小智榮	室海安子	内原繁次	上原繁次	佐藤真孝	山田敏教	渡邊隆夫	内海史郎	上原浩	武内正美 吉岡誠一郎	中島誠治 今川昌彦	後半							